

入札説明書

この入札説明書は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「政令」という。）、鳥取県会計規則（昭和39年鳥取県規則第11号。以下「会計規則」という。）及び本件公告に定めるもののほか、本件調達に係る入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 業務の名称及び数量

鳥取港廃棄物処理業務委託 一式

(2) 業務の仕様

別添令和3年度鳥取港廃棄物処理業務委託特記仕様書（以下「特記仕様書」という。）のとおり

(3) 委託期間

契約締結日から令和4年3月31日まで

2 入札参加資格

本件入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

(1) 政令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 平成30年鳥取県告示第519号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等について）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、以下の全ての業種区分に登録されている者であること。

ア 廃棄物処理の一般廃棄物（収集・運搬）

イ 廃棄物処理の産業廃棄物（収集・運搬）

ウ 廃棄物処理の産業廃棄物（処分）

(3) 本件調達の公告日から開札日（再度入札を含む。）までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成7年7月17日付第157号）第3条第1項の規定による指名停止措置を受けていない者であること。

(4) 鳥取県内に本店、支店、営業所又はその他の事業所を有していること。ただし、県内事業所に従業員が常駐していることが確認できる場合に限る。

(5) 鳥取市の一般廃棄物の収集及び運搬に関する許可を有する者であること。

(6) 鳥取港湾事務所が管理している港湾区域内（特記仕様書別紙1）において排出される見込みの廃棄物及び海岸漂着物（廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等（コンクリートくず及び陶磁器くずを含む。）及びがれき類）のうち3品目以上の産業廃棄物の収集及び運搬に関する許可並びに処分に関する許可を有する者であること。

3 契約担当部局

鳥取県県土整備部鳥取港湾事務所

4 入札手続等

(1) 入札の手続及び業務の仕様に関する問合せ先

〒680-0906 鳥取県鳥取市港町8

鳥取県県土整備部鳥取港湾事務所管理担当

電話 0857-28-2432

電子メール tottorikowan@pref.tottori.lg.jp

(2) 競争入札参加資格者名簿に関する問合せ先

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220

鳥取県総務部総合事務センター 物品契約課

電話 0857-26-7431

(3) 入札説明書等の交付方法

令和3年3月31日(水)から同年4月22日(木)までの間に鳥取港湾事務所ホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/tottorikowan/>)から入手すること。ただし、これにより難しい者には、次により直接交付する。

ア 交付期間及び交付時間

令和3年3月31日(水)から同年4月22日(木)までの日(日曜日及び土曜日を除く。)の午前9時から午後5時までとする。

イ 交付場所

(1)に同じ

(4) 郵便等による入札

可とする。ただし、書留郵便(親展と明記すること。)又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第6項に規定する一般信書便事業若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの(親展と明記すること。)により、(1)の場所に送付すること。

(5) 入札及び開札の日時及び場所

ア 入札及び開札日時

令和3年4月30日(金)午後2時。ただし、郵便等による入札書の受領期限は、同月28日(水)午後5時とする。

イ 場所

鳥取県鳥取港湾事務所研修室

5 入札に関する問合せの取扱い

(1) 疑義の受付

本件入札に関する質問は、質問書(様式第2号)を作成し、電子メールにより4の(1)の場所に令和3年4月9日(金)午後5時までに提出することとし、原則として訪問、電話又はファクシミリによる質問は受け付けないものとする。

(2) 疑義に対する回答

(1)の質問については、令和3年4月16日(金)午後5時15分までに鳥取港湾事務所ホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/tottorikowan/>)によりまとめて閲覧に供する。

6 入札参加者に要求される事項

(1) 本件入札に参加を希望する者にあつては、7の事前提出物を作成の上、令和3年4月22日(木)午後5時までに4の(1)の場所に提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

(2) 入札者は、(1)の書類に関して説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

(3) 事前提出物の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

(4) 提出された事前提出物は返却しない。

また、当該事前提出物は提出した者に無断で本件入札事務以外の用途には使用しない。

7 事前提出物

事前提出物は次のとおりとし、提出部数は各1部とする。

(1) 入札参加資格確認書(様式第1号)

(2) 2の(4)を証するものとして、直近の事業年度に係る法人県民税及び法人事業税に係る課税

標準の分割に関する明細書（その1）の写し（地方税法施行規則（昭和29年総理府令第28号）第10号様式（競争入札参加資格者名簿に県内事業者の登録がされていない者に限る。）

- (3) 2の(5)及び(6)を証するもの（「鳥取市一般廃棄物処理業許可証（事業の種類：一般廃棄物の収集及び運搬）」、「産業廃棄物収集運搬業許可証」及び「産業廃棄物処分業許可証」（いずれも業務開始日が許可の有効期間内であること。）の写し。）

8 資格審査について

- (1) 6の(1)により提出のあった書類を審査の上、入札参加資格の有無を確認し、その結果を令和3年4月26日（月）までに通知する。
- (2) (1)の審査により入札参加資格がないと認められた者は、鳥取県鳥取港湾事務所長に対し、入札参加資格がないとした理由について、令和3年4月27（火）までに書面（様式は自由）により説明を求めることができる。
- (3) (2)により説明を求められた場合、鳥取県鳥取港湾事務所長は、説明を求めた者に対して令和3年4月28日（水）までに書面により回答する。

9 入札条件

- (1) 入札は、紙入札による。
- (2) 入札書に記載する金額は、仕様書の8に示す種別ごとの単価（課税事業者にあつては、消費税及び地方消費税を含まない金額とする。）に予定数量を乗じて得た金額（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した金額を入札金額として記載すること。なお、この調達は単価契約によるものであり、入札書に記載された単価（税抜）を契約書記載単価とするため、落札額が契約金額とまらないので注意すること。
- (3) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、表面に業務名、業務場所、住所、商号又は名称及び代表者氏名を記載し、密封して提出すること。
郵便等による入札の場合は、「入札書」と明記した封筒に「第1回」、「第2回」又は「第3回」と回数を明記し、提出すること。なお、第2回以降の入札書の送付がない場合は、当該再度入札は辞退したものとみなす。また、回数が記載されていない場合は、1案件に対し、入札書を2通以上提出した入札として無効とする。
- (4) 入札者は、入札書の記載内容について抹消し、訂正し、又は挿入するときは、当該箇所に押印しなければならない。ただし、入札金額は訂正できない。
- (5) 入札に関する行為を代理人に行わせようとするときは、その委任状（様式第3号）を提出しなければならない。ただし年間委任状を提出している場合を除く。
- (6) 入札者は、いったん提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。
- (7) 委任状及び入札書の宛名は「鳥取県鳥取港湾事務所長 小林 公行」とすること。
- (8) 再度入札は2回とする。（初度入札を含めて3回とする。）
- (9) 再度入札において、前回の最低入札金額以上の入札金額を提出した者及び最低制限価格を下回る入札を行った者は失格とし、不落札でさらに再度入札を行う場合、次回以降の入札には参加させないものとする。
- (10) 入札者は、政令、会計規則、本件公告、仕様書及びこの入札説明書を熟知の上、入札すること。
- (11) 入札後、本件公告、仕様書、この入札説明書等の不知又は不明を理由として、異議を申し立てることはできない。

10 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金
入札保証金は免除する。

(2) 契約保証金

落札者は、契約保証金として入札書に記載した入札金額（以下「支払予定総額」という。）の100分の10以上の金額を納付しなければならない。この場合において、会計規則第113条第1項に定める担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。

なお、会計規則第112条第4項の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

1.1 入札の無効条件

次に掲げる入札は無効とする。

- (1) 本件公告に示した入札参加資格のない者のした入札
- (2) 入札参加資格確認書（様式第1号）を提出していない者のした入札
- (3) 入札に関する行為を代理人に行わせようとする場合（代表者以外の者が入札を行うとき）において入札を行うまでに委任状（様式第3号）を4の（1）の場所に提出していない入札。ただし、年間委任状を提出している場合は、この限りでない。
- (4) 他の入札者の代理人を兼ねた者、又は2人以上の入札者の代理をした者の入札
- (5) 入札に際し、不正の行為があった者のした入札
- (6) 記名のない入札書による入札
- (7) 入札書を鉛筆で記載した入札
- (8) 1案件に対し入札書を2通以上提出した入札
- (9) 入札書の金額、氏名、印影、その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札。
- (10) 政令、会計規則、本件公告、この入札説明書又はその他入札条件に違反した入札

1.2 落札者の決定方法

本件公告に示した役務を履行できると判断した入札者であって、会計規則第127条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって有効な入札を行った者のうち、最低価格をもって入札を行った者を、落札者とする。

1.3 契約書作成の要否

要

1.4 手続における交渉の有無

無

1.5 その他

- (1) 落札者が免税事業者である場合は、消費税及び地方消費税に係る免税事業者届出書を提出すること。
- (2) 開札前に天災その他やむを得ない理由が生じたとき、又は入札に関し不正の行為があり、若しくは競争の意思がないと認めるときは、入札の執行を中止し、又は取りやめることがある。
- (3) 本件入札参加資格確認に係る事項及び提出された資料の内容について後日事実と反することが判明した場合は、契約を解除する場合がある。
- (4) 契約の相手方（以下「受注者」という。）が次に掲げる事項のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる旨契約書に記載するものとする。

なお、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当することを理由に発注者が契約を解除するときは、受注者は違約金として支払予定総額の10分の1に相当する金額を発注者に支払わなければならない。

また、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当するかどうかを鳥取県警察本部に照会する場合があります。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団の構成員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

イ 次に掲げる行為の相手方が暴力団又は暴力団員であることを知りながら当該行為を行ったと認められるとき。

（ア）暴力団員を役員等（受注者が法人の場合にあってはその役員及び経営に事実上参加している者を、受注者が任意の団体にあつてはその代表者及び経営に事実上参加している者をいい、非常勤を含むものとする。以下同じ。）とすることその他暴力団又は暴力団員を経営に関与させること。

（イ）暴力団員を雇用すること。

（ウ）暴力団又は暴力団員を代理、あつせん、仲介、交渉等のために使用すること。

（エ）いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員に対して、金銭、物品その他財産上の利益を与えること。

（オ）暴力団又は暴力団員を問題の解決等のために利用すること。

（カ）役員等が暴力団又は暴力団員と密接な交際をすること。

（キ）暴力団若しくは暴力団員であること又は（ア）から（カ）までに掲げる行為を行うものであると知りながら、その者に物品の製造、仕入れ、下請等させること。

（5）再委託の禁止

ア 受注者は、発注者の承認を受けずに、再委託をしてはならない。

イ 発注者は、次のいずれかに該当する場合は、アの再委託の承認をしないものとする。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。

（ア）再委託の契約金額が委託料の額の50パーセントを超える場合

（イ）再委託する業務に委託業務の中核となる部分が含まれている場合

（6）本件入札には鳥取県鳥取港湾事務所施設管理調達最低制限価格制度実施要領に準じて最低制限価格を設定しており、当該最低制限価格を下回る入札を行った者は失格とし、不落札で再度入札を行う場合において、次回以降の入札には参加させないものとする。

（7）10の（2）の契約保証金の免除を希望する落札者は、速やかに契約保証金免除申請書（様式第5号）を、4の（1）の場所に提出すること。